

和白干潟通信

愛して、わじろ



No.113

2015年1月13日
発行: 和白干潟を守る会
〒811-0202 福岡市東区和白1-14-37
Tel/Fax.092-606-0012
<http://wajirohigata.sakura.ne.jp>



「ツルナ咲く和白干潟」きりえ：くすだひろこ

和白干潟をラムサール条約登録地に！

新年 おめでとうございます！！

2015年1月

昨年は和白干潟を守る会の活動が日本ユネスコ協会連盟により「プロジェクト未来遺産」に登録され、2月に登録証伝達式がありました。その折に新井章吾さんのご指導で和白干潟の海底湧水で塩を作り、参加者にプレゼントしました。「未来遺産登録」も、「海底湧水の存在」も、大変嬉しいことでした。この1年間、和白干潟の保全活動と共に、ラムサール条約の街頭署名活動に取り組みました。保全活動は今年で27年になります。大切な和白干潟の自然を未来の子どもたちに残すために、自然観察会や和白干潟まつり・クリーン作戦・鳥類調査・水質や砂質調査・和白干潟通信やパンフレットの発行・ホームページでの広報などの多くの活動を、会員の皆さまとともに続けることができました。

活動への企業や学校の参加が増えました。「山・川・海の流域会議」では、立花山・唐原川・和白干潟の保全グループが連携して保全活動を続けてますが、昨年は唐原川の清掃活動の他、唐原川の植物や生きもの観察会も実施しました。2012年11月より集めてきました「和白干潟のラムサール条約登録を求める署名」の第2次集計分を今年1月に福岡市長と環境大臣に提出いたします！

ミヤコドリは今冬は9羽が和白干潟に来ており、クロツラヘラサギは21羽を確認しています。

2015年を迎え、世界の湿地や干潟の保全が進むことを心から願っています。今年も和白干潟を守る活動に、皆さまのご協力をお願いします。多くの方々が和白干潟の環境保全活動に参加し、和白干潟がぜひ「ラムサール条約登録湿地」となることを願っています！

今年もどうぞよろしくをお願いします！

和白干潟を守る会 代表 山本 廣子



第26回 和白干潟まつり開催（11月23日）

2014年11月23日（日）11:00～15:15に、「第26回和白干潟まつり」を海の広場で開催しました。快晴で暖かく、約300人の参加がありました。主催は第26回和白干潟まつり実行委員会（和白干潟を守る会とグリーンコープ生協福岡東支部）です。久しぶりで会える方々や初めての方々とともに、和白干潟の自然を通して親しく触れ合えるのはとても嬉しいことでした。自然観察会を主体として、コーラスや演奏、マジックなど、みんなの力を合わせて楽しい和白干潟まつりができました！和白干潟の自然をこれからも守っていきましょうね！（実行委員長：山本 廣子）



開会式

司会は森 文子さん、開会挨拶は山本実行委員長。今年も市長からのメッセージが届き、高田さんが代読。



バードウォッチング

「野鳥の会」田村さんなどの指導でボーイスカウトの子どもたちを含め参加者50名。見られた鳥は多く、55種。



自然遊び

「野鳥の会」田村さんの指導で、参加者21名（子ども11名）「フィールドビンゴ」「音遊び」を実施。



植物観察

「植物友の会」野村さんの指導で、同じ植物でも海岸にあることで葉の厚さが違うなど、環境に応じて植物も身構えることなどを教わった。10名参加。



干潟の生きもの観察

藤井さん、嶺井さんの指導で、16種の干潟の生きものを観察した。35名参加（子ども18名）。



コーラス

「うたごえサロン」山本代表主宰のコーラスグループで初出演。合唱7～8人とウクレレ演奏で、3曲を観客もいっしょに歌った。



南米音楽演奏

「モジャッコ」
「モジャッコ」の3人グループ。いつもすばらしい南米の楽器演奏と歌声で魅了。



ミニシアター

子ども劇場の子どもと大人によるいろいろな歌遊び。「終わらない遊び」は楽しく人気があった。



紙芝居

（コメツキガニのたび）
守る会森 文子さんが担当。干潟全体がよくわかる山本代表のきりえ絵本の紙芝居。

ラムサール条約登録を目指して...300人参加 (高田 将文)



マジックショー

「マジック1・2・3」の皆さんと山本代表の楽しいマジックショー。



一言アピール

7団体参加で活動をアピール。予定や支援などを呼びかけた。



手をつないで

50名の参加者が海に向かい、手をつなぎ「海の歌」などを振りを入れて歌った。



干潟の掃除

55名が参加し干潟の掃除をした。乾燥したアオサを41袋集めた。



写真展

和白干潟の自然の写真や、保育園や小、中、高校などの観察会報告の紹介パネルの展示は、多くの人に関心を持って見てもらった。



パネル展



模擬店・バザー

出店は15店。おでんなどの食品と無農薬野菜やリサイクル品などの販売と展示。お店紹介インタビューが好評。



ラムサール宣言

若い田浦さんが力強くラムサール宣言を行い、閉会の挨拶は山本実行委員長が来年もがんばろうと呼びかけた。

第26回和白干潟まつりラムサール宣言

(抜粋)

1. 私たちは、これからも大切な和白干潟の保全活動と環境保全の啓発活動を続けていきます。
2. 福岡市に、博多湾全体のラムサール条約登録に先立ち、まず条件の整っている和白干潟のラムサール条約登録を国に申請することを求めます。
3. 環境省に、和白干潟のラムサール条約登録に早急に取り組むことを求めます。

2014年11月23日

第26回和白干潟まつり参加者一同



福岡市長からのメッセージ (要旨)

「和白干潟まつり実行委員会」の委員の皆様をはじめ、参加者の皆様におかれましては、日頃から清掃活動や多彩な環境啓発など、和白干潟の環境保全活動に熱心に取り組んでいただき、厚くお礼申し上げます。市民手づくりの「和白干潟まつり」は、まさにふくおかの身近な自然に触れあう先進的な取り組みであり、26年にわたり活動を継続されていることに重ねて感謝申し上げます。今後ともこれらの活動を通じて地域住民の方々への干潟保全の理解と協力がさらに促進されることとなり、生物多様性保全の取り組みの輪が市域全般に広がっていくことを祈念しております。

平成26年11月23日

福岡市長 高島 宗一郎

和白干潟の自然だより（秋～冬）

（山本 廣子）

ハマサジ 準絶滅危惧（NT） 福岡県絶滅危惧Ⅱ類 イソマツ科

海の広場のアシ原入り口付近は、ハマサジの群落地になっています。ハマサジは海岸の砂地に生える2年草で、地中に伸びた主根から多くの葉がロゼット状に丸く生えています。9月～10月頃にはロゼットの中心から花の茎が伸びて、多くの細枝に多数の小さな花が咲きました。12月現在は花茎は枯れていますが、緑色の葉は元気です。アシ原のアシの穂も膨れて暖かそうです。クコの赤い実がたくさん生りました。ウグイスの地鳴きも聞こえ、アシ原の豊かな冬が始まりました。



ハマサジ

カモの足あととフン



カモの足あととフン

冬の和白干潟には、たくさんのカモたちが渡ってきています。海ガモや淡水ガモなどが棲み分けています。その内の淡水ガモたちは干潟や浅瀬で過ごしています。干潟に上がって来て休んだり、餌を食べたりしています。干潟を歩くと、その跡が見つかります。カモの足跡には水かきが付いているので、すぐにわかります。カモの足跡のそばには緑色のフンが落ちています。緑色のアオサを食べて緑色のフンをしています。アオサの色素が残っているのでしょうか。この緑色のフンも12月後半には消えます。アオサは海水温が10度以下になると分解していくそうです。

ダイシャクシギ 福岡県絶滅危惧Ⅱ類

全長約60cm。長くて下にまがった口ばしを持つ大型のシギです。「カーリュー」と大きな声で鳴きます。英名も「Curlew」です。冬鳥として和白干潟に訪れています。干潟のカニを捕って食べていますが、貝類やゴカイなども食べるそうです。実は和白干潟では沖合の人工島着工前には最大13羽が記録されていますが、近年は1～3羽が越冬しているにすぎません。まさに和白干潟の絶滅危惧種です。大きくて口ばしが長くまがったその形態から、この鳥を見た人たちの心に残る鳥のようです。



ダイシャクシギ

★ 冬の和白干潟のしぜん ★

アシ原： 冬のアシ原ではシロハラやツグミが見られ、ウグイスの地鳴きが聞こえにぎやかです。早春になるとハマダイコンの花が咲き出し、ハマウドやハマニンニクが伸び、3月にはハマニンニクの穂が出てきます。

干 潟： 11月下旬に大量のアオサが沿岸に漂着して腐りますが、その後は低温のためにアオサは分解します。12月下旬にアオサを食べて大きくなったフレリトゲアメフラシが干潟上にたくさんいました。北西の風が吹きつけ白波が立ち、干潟には波模様が美しく残ります。カモやシギの足跡が干潟にたくさん残っています。ウミニナも砂をかぶります。

水 鳥 11月にはクロツラヘラサギが最大21羽飛来しました。12月には冬鳥がそろいます。ミヤコドリは12月現在9羽。ツクシガモは120羽。淡水ガモ、海ガモ、カイツブリの仲間、カモメの仲間、シギ・チドリの仲間など、冬は水鳥が最も多い季節です。

唐原川の「植物と生きもの観察会」



11月8日、「山・川・海の流域会議」で、立花山から和白干潟をつなぐ唐原川の植物と生きもの観察会を行いました。流域会議メンバーの九州産業大学内

田ゼミの学生たちの主導で兩岸や川の中の植物を、チェックリストを手に観察。岸の植物をあわせると85種もありました。上流には近辺ではここだけにしか生えていない危惧種「フトイ」も見ることができ、貴重な植物を守っていかなければと認識を新たにしました。(田辺)

福岡市長選挙で公開アンケート

11月の福岡市長選で、和白干潟を守る会は6名の候補者に 和白干潟を知っているか 和白干潟に来たことはあるか 和白干潟の重要性を知っているか ラムサール条約について知っているか 和白干潟がラムサール登録地にふさわしいか ラムサール登録に向け、市としてどのような取り組みが必要か、について公開アンケートを行い、5名から回答があり、ホームページに掲載しました。(今村)

九州産業大学での特別講義に120名

10月11日、九州産業大学で経済学部宗像教授の行政学、地方行政論の受講生、宗像ゼミナールのゼミ生、及び一般市民



を対象とした特別講義があり、山本代表が「和白干潟のラムサール条約登録をめざして(和白干潟の自然と環境保全活動)」と題し特別講義を行いました。(高田)

香住丘小学校5年生の体験学習で「和白干潟の講演会」



10月16日、和白干潟に近い香住丘小学校5年生4クラス160名と先生4名の体験学習で、山本代表が「和白干潟を未来に守りつごう!(和白干潟の自然と環境保全活動)」のテーマで講演をしました。子どもたちの質問によって、山本さんの心にあるたくさんの内容が次々に出てくるようでした。(松田)

玉名市で湿地の危惧種が工事のため死滅

熊本県玉名市菊池川河川工事で、湿地の絶滅危惧種の貝「オカミミガイ」と準絶滅危惧種の多年草「シオクグ」が消滅していることが判明しました。工事に際して環境保全を怠ったことが取り返しのつかない事態を招いています。「オカミミガイ」「シオクグ」は、共に和白干潟にも生息しています。貴重な生態系を守るために、行政、市民、専門家の情報共有、意見交換がいかに必要かが問われています。和白干潟へ注ぐ唐原川でも浚渫が計画されているとのことですが、絶滅が危惧される植物「フトイ」を守ることはできるのでしょうか。(今村)

和白干潟を守る会へのご支援ありがとうございます！！

11/7「MS&ADインシュアランスグループ」様より寄付金をいただきました。観察会やクリーン作戦に社員やご家族が参加されています。

12/4「住友ゴム工業(株)」様より応援金をいただきました。クリーン作戦や観察会にダンロップタイヤ九州(株)の社員やご家族が参加されました。

気が付いたらあなたも電話してください！

海辺のゴミやアオサをとってほしい時・自分でゴミを拾った時

092-282-7146 (港湾局維持課)

沖のアオサをとってほしい時

092-282-7153 (港湾局環境対策課)



** お 願 い **

干潟でのゴルフやラジコンの練習はやめましょう！とても危険です。

干潟や堤防でゴミを燃やすのはやめましょう！(ダイオキシン発生防止、ゴミの野焼き禁止)

犬のフンの始末は飼い主がしましょう！

弱った野鳥を見つけた時

092-513-5611

福岡県筑紫保健福祉環境事務所(地域環境課)

092-643-3367

福岡県環境部自然環境課野生生物係

活動日誌

(山之内 芳晴)

2014年9月

- 9/2 (火) 和白干潟通信112号編集会議
- 9/6 (土) アオサのお掃除大作戦(保全のつどい)参加
- 9/7 (日) 2014年秋期シギ・チドリ調査(今津、博多湾東部)
- 9/11 (木) イオン黄色いレシートキャンペーン
「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 9/13 (土) 日本科学者会議シンポジウム分科会にて和白干潟の講演
「山・川・海の流域会議」参加
- 9/14 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 9/16 (火) 2014年秋期シギ・チドリ調査(今津)
- 9/18 (木) 筑陽学園中学校3年生の和白干潟校外理科学習
- 9/20 (土) アオサのお掃除大作戦(保全のつどい)参加
- 9/23 (火) 和白干潟通信112号編集会議
- 9/25 (木) 2014年秋期シギ・チドリ調査(博多湾東部)
- 9/27 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 9/30 (火) 和白干潟のラムサール街頭署名活動(福工大前駅周辺)

2014年10月

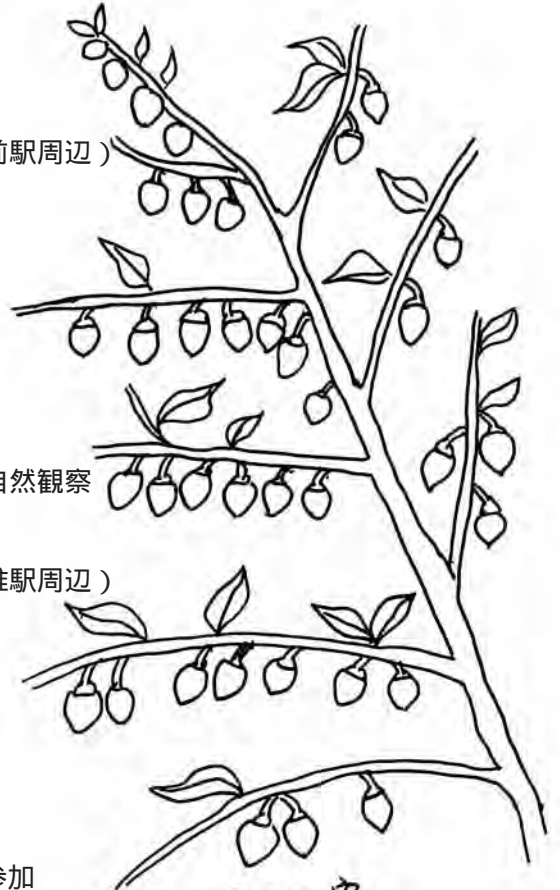
- 10/4 (土) アオサのお掃除大作戦(保全のつどい)参加
- 10/9 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 10/11 (土) 九産大宗像ゼミ特別講義(九州産業大学)
イオン黄色いレシートキャンペーン
- 10/12 (日) 和白海岸探鳥会(日本野鳥の会)
- 10/14 (火) 和白干潟通信112号発送会
- 10/16 (木) 香住丘小学校5年生に和白干潟の講演
- 10/18 (土) MS&ADの和白干潟観察会とクリーン作戦
- 10/19 (日) ダンロップ九州の和白干潟のクリーン作戦と自然観察
- 10/24 (金) 柏陵高校1年生の和白干潟観察会
- 10/25 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 10/28 (火) 和白干潟のラムサール街頭署名活動(西鉄香椎駅周辺)

2014年11月

- 11/4 (火) 第2回和白干潟まつり実行委員会
- 11/8 (土) 唐原川観察会(山・川・海の流域会議)参加
- 11/11 (月) イオン黄色いレシートキャンペーン
- 11/13 (木) 「和白干潟保全のつどい」会議参加
- 11/20 (木) 和白干潟の臨時クリーン作戦
- 11/22 (土) 定例会議・和白干潟クリーン作戦と自然観察
- 11/23 (日) 第26回和白干潟まつり
- 11/24 (月) BANFFマウンテンフィルムフェスティバル参加
(パタゴニア福岡店)
- 11/25 (火) 和白干潟のラムサール街頭署名活動(福工大前駅周辺)
- 11/28 (金) 西戸崎小学校5年生の和白干潟観察会
- 11/30 (日) 精華女子短大生の和白干潟観察会

和白干潟の2014年5大ニュース

1. 未来遺産登録証授与!
2. 和白干潟の海底湧水で塩を作った!
3. ミヤコドリ飛来数9羽!
4. 和白干潟通信を112号まで発行!
5. 第26回和白干潟まつり開催!
(2014年12月26日の望年会にて)!



ワコの実
Hiroko. K.

干潟のつぶやき「チゴガニがあぶない！」

チゴガニは甲羅の幅が1cmのスナガニ科のカニで、砂泥干潟に生息しています。白いハサミと胸の明るい青色が特徴的で、干潟でも目立つカニです。最近、和白干潟では少なくなりましたが、昨夏、唐原川河口の橋脚下の泥地に居ることがわかりました。今年も元気になっているのか気になり、7月ごろ確認に行ったところ、なんと居るのはアシハラガニとヤマトオサガニでした。チゴガニが居なくなったのかと、それから何度か行ってみましたが、チゴガニを見ることもあります。数も少なく、アシハラガニを見ることの方が多いのです。近年、唐原川河口の底質が泥地から砂地に変わってきています。アシハラガニは他のカニを捕食することもあるので、チゴガニが生き残れるのか心配です。来年もチゴガニが見られますように。(山之内)



チゴガニ

和白干潟の観察会報告

(山之内 芳晴)

10月18日(土) MS&ADグループ135名

紙芝居で和白干潟の紹介を行ったあと、野鳥を観察。好天に恵まれ、また鳥たちも多く、子どもたちも大変興味をもっていました。干潟に出れば貝やカニなどみな珍しく、大人も子どもも動きません。アサリとウミニナの浄化実験もうまくいきました。最後の20分でクリーン作戦です。沿岸に打ちあげられたアオサを主体に清掃、アオサと人工ゴミで94袋集まりました。(河上)



10月19日(日) チームエナセーブ未来プロジェクト(住友ゴム工業)40名



この上ない良い天気、開会式に続き、山本さんが和白干潟と守る会の活動を話しました。その後望遠鏡で鳥を見て、植物観察と生き物観察。赤く色づいてきたハマツナやウラギクの花を見たり、コメツキガニを捕まえたり、砂団子の説明もしました。クリーン作戦は一時間ほど、ゴミ拾いやアオサ取り、220袋のゴミが取り除かれました。(田辺)

10月24日(金) 柏陵高校環境科学コース40名と先生5名

干潟のはなしの後、バードウォッチングへ。たくさんのカモやダイシャクシギ、オオソリハシギなどを見ることが出来ました。干潟ではゴカイの巣穴やカニなどを見ながら、アシ原を經由して生きもの観察。沖合ではアサリやウミニナを採集。アサリやウミニナによる海水浄化実験結果には生徒達も拍手でした。この後、全員でクリーン作戦。生徒達もよくがんばって浜辺のアオサを回収してくれました。(山之内)



11月28日(金) 西戸崎小学校5年生60名と先生2名



自己紹介が終わると、直ぐに干潟の生きもの観察へ。干潟では、コメツキガニの巣穴や砂団子、アカエイが掘ったくぼみやゴカイの巣穴、そして巣穴の掘り方などを説明。子どもたちはスコップで干潟を掘りながら生きものを探しました。子どもたちは本当に干潟が楽しそうでした。その後、海の広場で干潟のはなしとバードウォッチング、ミヤコドリやクロツラヘラサギ、たくさんのカモたちを見ることができました。穏やかな天候で子どもたちに干潟を楽しんでもらって良かったです。(山之内)

11月30日(日) 精華女子短大2年生25名と先生1名

きりえ館での室内講義では、紙芝居を使って和白干潟のことを紹介。その後干潟に移動しましたが、急に雨脚がひどくなり、本降りに。土砂降りの中、傘をさしながら望遠鏡で、クロツラヘラサギやカモを約15分間見ました。きりえ館に戻り、プロジェクターで和白干潟の四季や生きもの、渡り鳥、植物などを紹介。この後、2階のきりえ作品を見てもらいました。来年からは、保育園などの先生になる生徒さんたちだけに、熱心に聞いていました。(田辺)



新年度の会費納入をお願いします!

今年も和白干潟を守る会の一員として、和白干潟の自然を守る活動のためにお願いします。

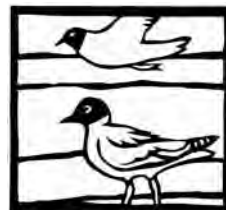
年会費 個人2,000円、団体5,000円
郵便振替 01720-4-23860
和白干潟を守る会

同封の振替用紙をご利用下さい。
郵便局の受領書を領収書に替えさせて
頂きます。
行き違いの際はご容赦下さい。

守る会問い合わせ窓口 ホームページ <http://wajirohigata.sakura.ne.jp>

入会/観察会(申込等)・・・山之内芳晴
クリーン作戦……………田辺スミ子
会費……………田中貞子
干潟まつり……………今村恵美子
広報/調査/定例会議……山本廣子

Tel/Fax. 092-944-1543
Tel. 090-1346-0460
Tel/Fax. 092-606-5588
Tel/Fax. 092-942-5282
Tel/Fax. 092-606-0012



和白干潟を守る会のホームページアドレスが変わりました
新しいアドレスは <http://wajirohigata.sakura.ne.jp>
よろしくお祈いします！

和白干潟を守る会 2015年度総会を開催します！

——素晴らしい年に！今年はきっとラムサール！——

日時：2月28日(土) 10時半～13時 場所：和白干潟を守る会事務所

総会では前年度の活動報告や会計報告を行い、新年度の活動方針やスケジュール、予算、役割分担などをみんなで意見を出し合い、決定します。(2月臨時定例会議を引続き開催します)

定例スケジュール

定例会議 (1/24, 3/28)

毎月第4土曜日10時半～13時 和白干潟を守る会事務所にて開催。

時間変更などの事前確認をして、ご参加下さい。

和白干潟を守る会事務所・・・福岡市東区和白1-14-37 きりえ館1階



会員募集中！
年会費 個人 2,000円
団体 5,000円
カンパの協力お願い
郵便振替 01720-4-2386
和白干潟を守る会

以下は参加自由です。仲間が待っています！

クリーン作戦と自然観察 (1/24, 2/28, 3/28)

毎月第4土曜日15時～17時 和白干潟・海の広場集合

長靴があると便利。駐車場なし。

和白海岸探鳥会 (2/8, 3/8, 4/12) 主催：日本野鳥の会福岡支

毎月第2日曜日9時～12時 JR 和白駅前公園集合 参加費：野鳥の会会員100円、一般300円

ボランティアへのお誘い
和白干潟を守る会のボランティア活動に参加して、新たな自分を見つけませんか？あなたの経験や知識や技術が、きっと活かされますよ！

和白干潟の鳥たち (その69)

カンムリカイツブリ (カイツブリ目カイツブリ科 Great Crested Grebe)



冠鳥 [全長56cm]

[レッドリスト軽度懸念(LC)][福岡県準絶滅危惧]
カンムリカイツブリは冬鳥として和白干潟を訪れます。雌雄同色で日本のカイツブリ中最大です。冬羽では顔から前頸が白くて長く、良く目立ちます。夏羽では頭部に黒と赤褐色の飾り羽が出て、これが名前の由来かもしれません。美しく変身したらずくに北へ渡って行きますので、夏羽を見られる期間は長くはありません。潜水して魚類などを取って食べています。和白沖で1000羽以上の群れで越冬していたカンムリカイツブリは、人工島着工以来激減してしまい、現在は10羽～20羽が見られるのみで残念でなりません。

(写真撮影：三宅 僚)

(山本 廣子)

【編集】山本廣子・山之内晴義・田辺スミ子・今村恵美子・高田将文



<カット>くすだひろこ

次号は2015年4月発行予定



【編集後記】10月に九産大宗像ゼミ特別講義で山本代表の講義を拝聴しました。現代の若者達が「無感動」「無作法」と言われて久しいですが、今回の特別講義を熱心に聞き入る、たくさんの学生の姿がとても印象に残りました。(高田 将文)